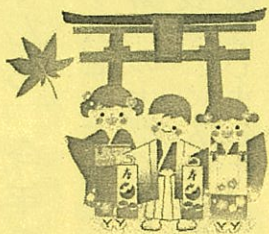


小島地区ふれあいセンターだより



令和6年11月 第413号 運営委員会発行

愛宕3丁目10-2 電話826-7703



11月の行事予定

※毎週月曜日は休所日です。

開催日	行事名	
1日(金)	子育て教室	午前10時～11時30分
5日(火)	小島地区ふれあいセンター運営委員会	午前10時～11時
6日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業)	午前10時～12時
12日(火)	小島愛宕地区老人連合会定例会議	午前10時～11時
	小島中学校区青少年育成協議会	
20日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業)	午前10時～12時
23日(土)	小島地区民生委員児童委員協議会定例会	午前10時30分～12時
26日(火)	小島地区連合自治会連絡会議	
30日(土)	秋の歴史探訪	午後1時30分～3時

【お知らせ】

「秋の歴史探訪」(主催講座)開催の御案内

日時 11月30日(土)

午後1時30分に集合～3時頃に解散

集合場所 崇福寺電停

内容 崇福寺めぐり(雨天決行)

講師 山口広助さん

(長崎游学の会代表、長崎のテレビ番組に多数出演)

受講料 無料(但し、崇福寺の拝観料として、300円が必要です)

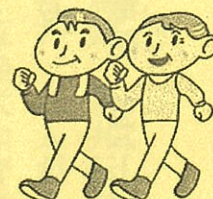
定員 30名(先着順)

申込先 小島地区ふれあいセンター(電話826-7703)

申込方法 直接来所、又は、電話によるお申込み

(午前10時～午後4時30分、月曜日を除く)

申込日 11月1日(金)～11月28日(木)



皆様のご参加をお待ちしています!!

出島から立山奉行所

○長崎開港前後の海外との交流(1)

・天文12年(1543)日本人とポルトガル人が始めて出会っています。
ポルトガル人が種子島に漂着し、鉄砲を伝えました。(種子島鉄砲伝来)
これは偶然2、3人のポルトガル人が中国船に乗り、海難事故に遭遇し漂着したものです。

※このときの日本人の対応・優れたところ。鉄砲を2丁購入し、1丁を見本として、1丁を解体し部品の複製材料として研究し、日本型火縄銃を完成させています。以後、国内に広く普及していきます。次にポルトガル船が日本に来たときに、沢山の鉄砲を積んできましたが、その時は日本中に国産鉄砲が普及して、高値での販売の見込みが見事に外れて、商売にならなかつたという話が伝わります。

・天文19年(1550)平戸にポルトガル人が来航し、以後平戸を窓口に通商を開始しました。しかし、永禄4年(1561)平戸の宮ノ前事件が発生。結果ポルトガルは平戸を脱出した。

※ポルトガル船入港にあわせ、平戸町人との売買交渉が始まったが、ある時、絹糸(絹織物)の交渉が決裂し、町人が商品を投げつけたことを契機として、ポルトガル商人が殴りかかり、双方入り乱れて乱闘に発展。武士が仲裁に入ったが、ポルトガル側は日本側の助太刀と勘違いし船に戻り武装して町人や武士団を襲撃、武士団も抜刀して応戦。ポルトガル船は船長以下14名が死傷、平戸港を脱出したもの。これを宮ノ前事件と言います。
・永禄5年(1562)ポルトガル船は大村藩の大村純忠を頼り横瀬浦に来航し港を開きます。

※横瀬浦は大村湾の西彼杵半島での飛び地となっています。

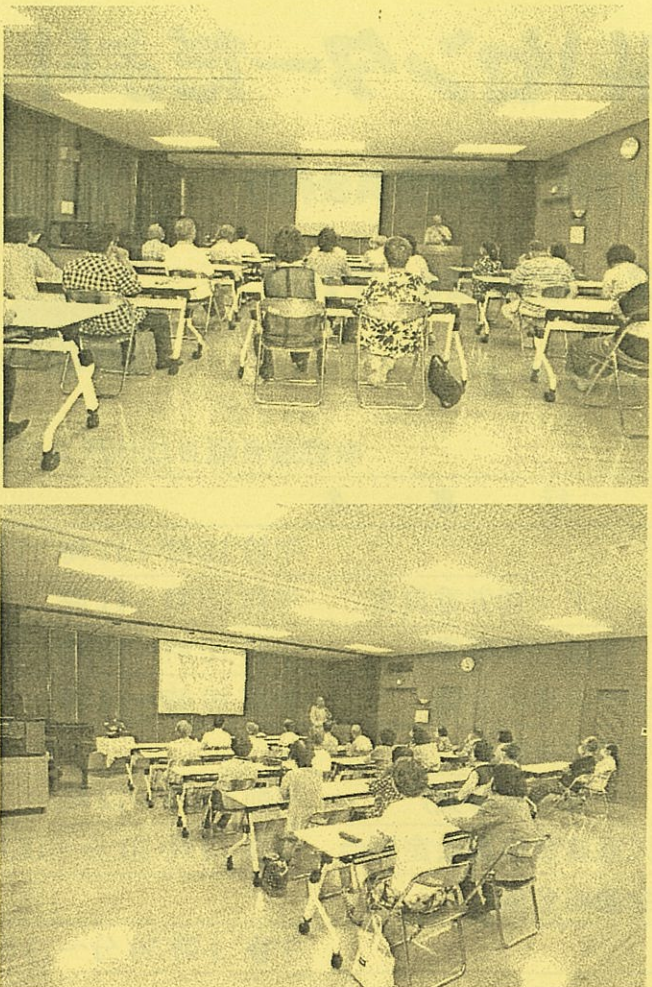
・永禄6年(1563) 大村純忠は貿易の利を見込み、家臣と共に洗礼を受け出、焼き討により廃港となる) 永禄8年(1565)ポルトガル船、福田浦に来航する。外港で港に不向きな為廃港。 永禄10年(1567)アルメイダ長崎に布教。ポルトガル船、口之津に来航。 永禄12年(1569)トード・オス・サントス教会建立(長崎初の教会)。いま春徳寺が建つ。 元亀元年(1571)長崎が開港。港の整備が行なわれる。 元亀2年(1571)ポルトガル船2艘入港。長崎に6町が造成される。(住民1,500名)

「長崎くんち 今年の見どころ」講座について

九月二十八日(土)に、小島地区ふれあいセンターの主催講座として、講師の土肥原弘久先生(元長崎市長崎学研究所長・KIT Nテレビ長崎 くんち解説者)による「長崎くんち 今年の見どころ」を開催しました。

二十二名の受講者の皆さんは、土肥原先生から、諏訪神事や神輿守・お下り・お上り、踊町などについて、映像を交えながら解説していただきました。

又、今年の長崎くんちの出し物の紹介や、見どころについても分かりやすく解説していただき、有意義なお話に耳を傾けておられました。



流刑地としての五島(九)

塩塚惣左衛門宅へ、福江藩士 木場平馬頭、新井伝左衛門がやって来て一同に会し、この度の赦免を祝い、二人が長崎まで付添うことと、明朝出船のことを知らせ、五島大和守よりの祝儀に百疋ずつを渡し、衣類などを見苦しい者には新しい木綿服を与えた。

この帰郷にあたり、国法により伝領の者を連れ行くことは禁じられていたので悲壮な決別となった。

十月十六日福江を出航、その夜は戸楽泊、船中には木場、新井が用意した重箱二組、手樽二挺が贈られ、一行の船は三艘にて、七日戸楽を出て岩瀬浦泊、十二日朝、岩瀬浦を出て、暮六ツ時、長崎大浦に着くことができた。

十三日、奉行所より石井九左衛門が来て赦免のことを伝えに来た。

同日七ツ時、木庭、新井は義士に付添い、奉行所に出頭し手続きを済ませ、深堀方の樋口作右衛門、千布政右衛門に引き渡された。

これが、深堀騒動一件である。

五島は、長崎の『犯科帳』に見られるように流刑地で、長崎のみならず、江戸、大阪の流人を受け容れていたことなど、さまざまな記録を見ることが出来る。

「被爆者定期健康診断」のお知らせ

原子爆弾被爆者対策協議会は、被爆者皆様の健康管理のため、長崎市内の各地区を巡回して、被爆者定期健康診断を実施しております。

今回は、下記の日程で実施しますので、受診されますようお願いいたします。

会場 小島地区ふれあいセンター

第1研修室(2階)

日時 11月7日(木)

午後1時30分～3時30分

持参するもの 被爆者健康手帳

第1種健康診断受診者証

案内ハガキ

問合せ先 (公財)長崎原子爆弾被爆者対策協議会

(原爆健康管理センター)

もりまちハートセンター内

長崎市茂里町2-41(電話 844-3100)

「第33回 小島地区ふれあいセンターまつり」開催のご案内

〔作品展示〕

- 日時 12月14日(土) 午後1時～4時30分
12月15日(日) 午前9時～午後3時30分
- 場所 小島地区ふれあいセンター 1階 図書室・児童図書館
- 内容 ・学習グループの皆さんの作品(俳句、書道、水彩画など)
・小中学校の生徒の皆さんの作品
・保育園の園児の皆さんの作品



〔舞台発表〕

- 日時 12月15日(日) 午後12時30分～3時30分
- 場所 小島地区ふれあいセンター 2階 第1研修室
- 内容 ・学習グループの皆さんの舞台発表
(コーラス、カラオケ、民踊、楽器演奏、
健康体操、3B体操、太極拳など)
・特別出演(子供日本舞踊)



皆様のお越しを、お待ちしております!!

「ふれあいバザー」開催のご案内及び献品の出品お願いについて

「小島地区ふれあいセンター」では、ふれあいセンターの円滑な運営を図るため、春に「ふれあいバザー」を開催しています。

本年度は、下記日程のとおり、「ふれあいバザー」を開催することといたしました。つきましては、上記の主旨をご理解いただき、バザー献品の出品について、ご協力をお願いいたします。

なお、献品につきましては、「小島地区ふれあいセンター」まで、ご持参下さるようお願いいたします。

「ふれあいバザー」にも、お出かけいただきますよう、ご案内申し上げます。

記

- 日時 令和7年3月2日(日) 午前10時から11時30分まで
- 会場 小島地区ふれあいセンター 1階 図書室・児童図書館

